

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	〇は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、〇の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

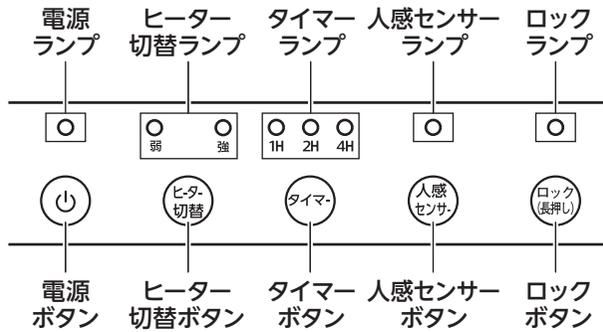
 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 指示	定格15A以上の壁コンセントを単独で使う。 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。	 指示	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	本体のすき間にピンや針などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。
	高温になるところ、湿度の高いところ、直射日光の当たるところ、コンロなどの火気の近く、引火性のガスのあるところ、屋外など雨や風の当たるところなどに設置しない。 故障・感電・けが・火災の原因になります。	 分解禁止	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	スプレー缶などを本体の近くに置かない。 爆発・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店にご相談ください。
	本体に衣類やふとんなどを掛けて使用しない。 過熱して、火災・やけどの原因になります。	 水ぬれ禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	就寝中は使用しない。 寝具などが触れて火災の原因になります。		水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。 感電の原因になります。		

⚠ 注意

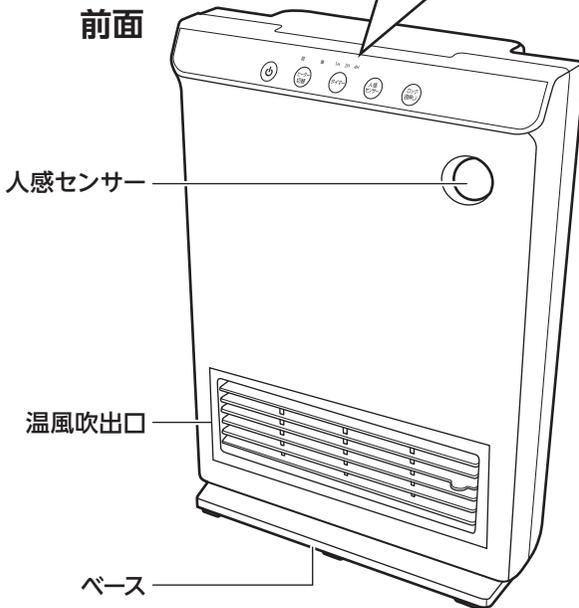
 禁止	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になります。	 禁止	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使わない。 火災の原因になります。		電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。
	乾燥など他の用途に使用しない。 過熱して発火の原因になります。	 指示	お手入れや持ち運び、保存の際は、本体が冷めてから行なう。 火災・やけどの原因になります。
	使用中は本体から離れない。 火災の原因になります。		運転をする際は、必ずフィルターを取り付ける。 フィルターを取り付けずに運転すると、火災・故障の原因になります。
	犬やネコなどのペット暖房用には使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になります。	 接触禁止	使用中や使用後しばらくは、温風吹出口(高温部)に触れない。 やけどの原因になります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けが・火災の原因になります。		

各部の名称とはたらき

操作部



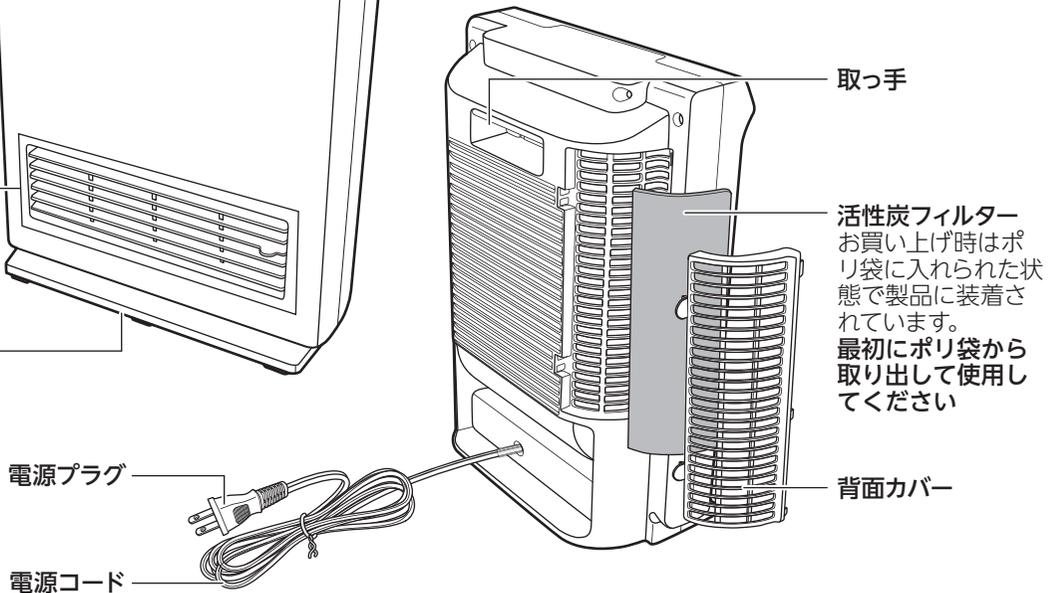
前面



注意

- 使用中は本体から離れない。
- 本体を移動させる場合は、本体が冷めてから取っ手を持って移動させる。
- 使用中や使用後しばらくは、温風吹出口に触れない。

背面



安全装置について

- 使用中に転倒したときは、転倒オフスイッチがはたらき、電源が切れます。
転倒オフスイッチがはたらいた場合、本体を水平状態に戻すと運転を開始できます。
- 温度が上昇しすぎると、サーモスタットがはたらき、電源が切れます。
サーモスタットがはたらいた場合、電源プラグを抜き、内部の温度が下がると、運転を開始できます。
さらに温度が上昇すると、温度ヒューズがはたらき、運転回路を遮断します。
温度ヒューズがはたらいた場合、温度が下がっても運転はできません。販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にご連絡ください。

正しい使いかた

使用前の準備

購入後、活性炭フィルターをポリ袋から出さず、そのまま稼働させると、本体に空気が入らず、故障の原因になりますので、必ず以下の準備をしてください



- ご使用前に、必ず活性炭フィルターをポリ袋から出してから取り付ける。故障の原因になります。
- 運転する際は、必ず活性炭フィルターを取り付ける。活性炭フィルターを取り付けずに運転すると火災・故障の原因になります。

1. 活性炭フィルターを取り付ける

1) 背面カバーをはずす

背面カバーのツメを倒し、少し力を入れて手前に引くとはずれます。

2) 背面カバーから活性炭フィルターを取りはずす

3) ポリ袋から活性炭フィルターを取り出す

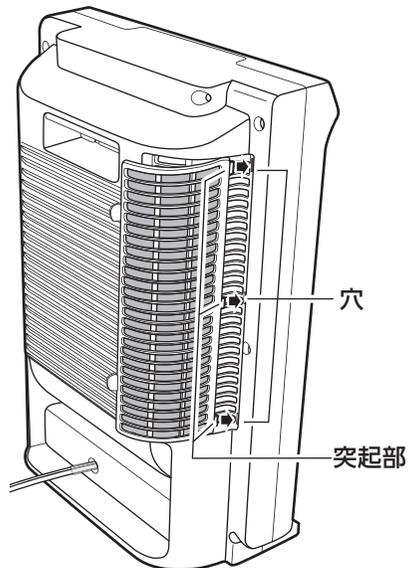
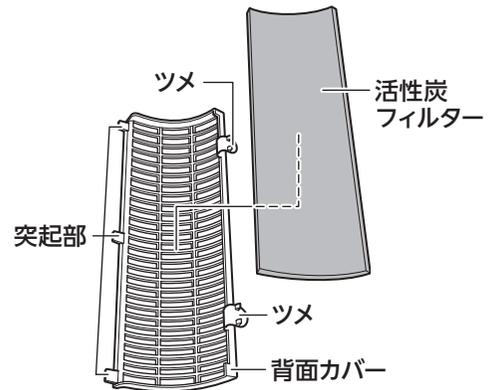
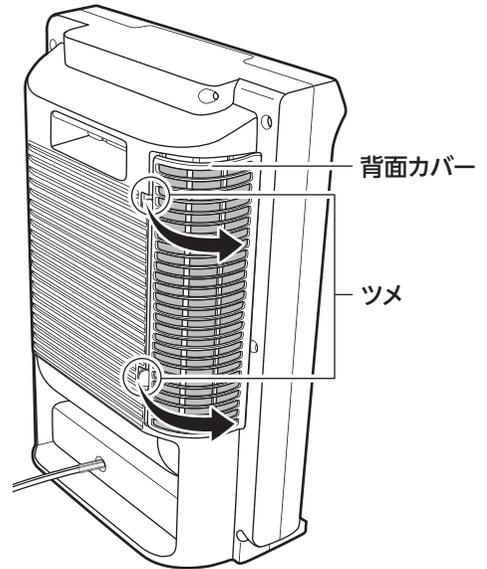
※ 活性炭フィルターやポリ袋に黒い粉（活性炭）が付着していることがありますが、性能に影響ありません。

4) 活性炭フィルターを背面カバーに取り付ける

右図の向きで背面カバーの裏側に取り付けます（ツメ側に差し込んでから、突起部側に押し込むようにします）。

5) 背面カバーを取り付ける

背面カバーの突起部を、本体側の穴に差し込み、ふたつあるツメを本体側に取り付けてください。



正しい使いかた (つづき)

2. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください(右図)。

• 本体を傾けて設置したり、傾いた場所に設置した場合、転倒オフスイッチのはたらきによって電源が入らないことがあります。

※ 近くに可燃物がないことを確認し、可燃物がある場合は、移動させてからご使用ください。

※ 本体を動かすとカラカラと音がすることがありますが、これは転倒オフスイッチ(安全装置)の音であり、異常ではありません。

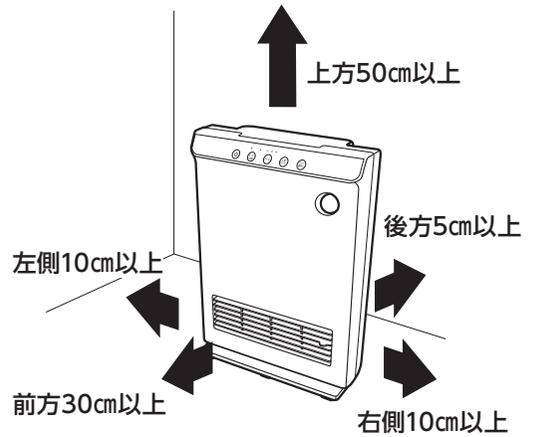
3. 電源プラグをコンセントに差し込む

“ピッピッ”という音が出ます。



- 定格15A以上の壁コンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火の原因になります。
- 本体に衣類などをかけて使用しない。
火災・やけど・本機の故障の原因になります。
- 電源コードを束ねたまま使用しない。
電源コードの発熱・発火の原因になります。
- 外出などで本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。

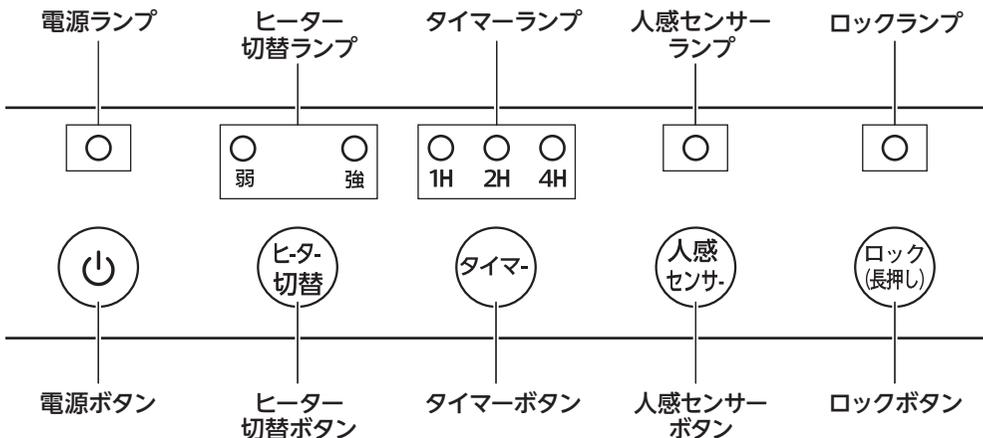
本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください。(火災の原因になります)



次のような場所では使用しないでください。

※ 毛足の長いカーペットや座布団の上などの不安定な場所(本体が傾いたり、浮いたりして、転倒や転倒オフスイッチの誤動作の原因になります。)

操作部



正しい使いかた (つづき)

人感センサーモードを使用する

人の動きを感知して、自動的に運転を停止・開始を行ないます。

1. 人感センサーモードにするには、運転中に^(人感センサー)人感センサーボタンを押して人感センサーランプを点灯させる

人感センサーランプが点灯すると、人感センサーモードに設定されます。

- 人感センサーモード設定中は、^(ヒーター切替)ヒーター切替ボタンを押すと、「強」と「弱」運転を切り替えることができます。
- ^(タイマー)タイマーボタンで切タイマーを1・2・4時間に設定／解除することもできます。

切り忘れ防止機能

人を感知しないまま12時間経過すると、運転を停止して電源が切れます。

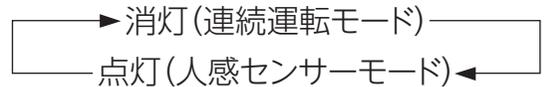
2. 人感センサーモードをやめるには、再度、運転中に^(人感センサー)人感センサーボタンを押して連続運転モードにする

- 人感センサーに関係なく、連続で運転するようになります。

○ 人感センサーランプ



人感センサーボタン



①連続運転モード [人感センサーランプ消灯]

設定された状態のまま、連続運転をします。

※ 連続運転モードのときは人感センサーは動作しません。

②人感センサーモード [人感センサーランプ点灯]

人の動きを感知して自動的に運転・停止を行ないます。

人を感知しなくなってから約2分後に暖房運転が停止し、送風運転に切り替わり、「人感センサーランプ」と「ヒーター切替ランプ」が点灯から点滅に切り替わります。

さらに8分後に送風運転が停止し、待機状態になります。

送風運転時や待機状態時に人の動きを感知すると暖房運転を開始します。

※ センサー感知範囲は左右合わせて約60°、上下合わせて約60°、センサー到達範囲は約1mです。

切タイマーの設定

切タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を停止させることができます。

1. 連続運転モードで運転中、^(タイマー)タイマーボタンを押して切タイマーの時間を設定する

切タイマーボタンを押して、切タイマーの時間を設定することができます。

○ 1H ○ 2H ○ 4H

タイマーランプ



タイマーボタン

- ・ タイマーボタンを押すたびにタイマーランプが1H・2H・4H・(消灯)と変化します。
- ・切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに、切タイマーが作動するまでの時間を表示します。

2. 切タイマーをキャンセルする

切タイマーボタンを何回か押して、切タイマーランプを消灯させます。

 タイマーボタンを押すたびに次のように切り替わります。



切タイマーランプは時間がたつと自動で次のように切り替わります。



チャイルドロックを使用する

幼児などが不用意にボタンに触れて設定が変わってしまうのを防ぎます。

1. 運転中に ロックボタンを長押し(3秒以上)する

ロックランプが点灯し、チャイルドロックが設定されます。この状態でボタンに触れても、設定が変更されることはありません。

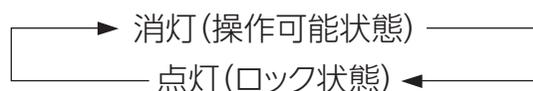
※電源が切れるとチャイルドロックも解除になります。電源プラグが抜けたり、転倒などによって電源が切れると、チャイルドロックも解除になります。

2. チャイルドロックを解除する

 ロックボタンを長押し(3秒以上)すると、ロックランプが消灯し、チャイルドロックが解除されます。

 ロックランプ

 ロックボタン



お手入れと保存



警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。
感電・けが・やけどの原因になります。

本体のお手入れ

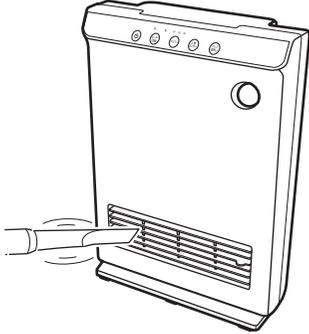
本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤(柑橘系を除く)に浸してかたくしぼった柔らかい布で拭きとり、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください。(強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

※ オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用洗剤を使用しない。
変色・変形させる原因になります。

お手入れと保存 (つづき)

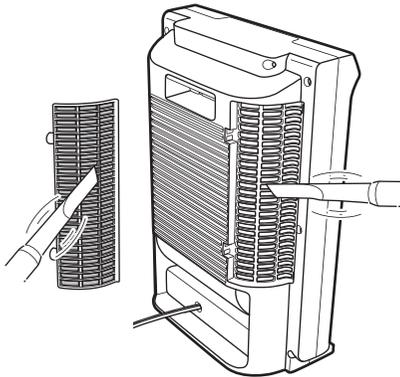
温風吹出口のお手入れ

掃除機でホコリを吸い取ってください。



吸気口のお手入れ

背面カバーを4ページの「使用前の準備」の手順1「活性炭フィルターを取り付ける」を参考にせずし、背面カバー両面・活性炭フィルター両面・本体吸気口のホコリを掃除機で吸い取ってください。



活性炭フィルターのお手入れ

下記の手順に従ってください。

- ① 本体背面カバーを取りはずす
- ② 背面カバーから活性炭フィルターを取りはずす
- ③ 活性炭フィルターのごみやホコリを手や掃除機でていねいに取り除く
- ④ 背面カバーに活性炭フィルターを取り付ける
- ⑤ 背面カバーを本体へ取り付ける

※ お手入れのあとは、必ず活性炭フィルターを取り付けた背面カバーを本体に取り付けてください。

活性炭フィルターは水洗いできません

活性炭フィルターの交換

活性炭フィルターをお求めの際は、本体お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にお問い合わせください。

※ 活性炭フィルターは消耗品ですので、保証期間中でも「有料」とさせていただきます。

【活性炭フィルター】

約6ヶ月間使用を目安に交換してください。

汚れがひどくなったりした場合などは、交換してください。

※ 活性炭フィルターは水洗いできません。

商品名: 活性炭フィルター (1個)
ACFT-CHR102J

ドウシシャのパーツ購入はドウシシャマルシェのご利用が便利です。

ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**
DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで
<https://www.doshisha-marche.jp/>



ドウシシャマルシェがご利用できない場合は、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室(→裏表紙)へお問い合わせください。

お願い

※ 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。

※ 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きにしたがってください。

※ 本体に直接、水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

保存のしかた

※ お手入れの後、よく乾燥させてください。

※ ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ない場所に保存してください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかりと差し込んでください
	安定した水平な場所に置かれていないため、転倒オフスイッチがはたらいている(3ページ参照)	安定した水平な場所に置くなど、置き場所を確認してください
	安全装置(サーモスタット)がはたらいている(3ページ参照)	電源プラグを抜き、本体が冷えるのを待ち、電源プラグをコンセントに差し込んで、再度電源を入れてください
	安全装置(温度ヒューズ)がはたらいている(3ページ参照)	電源プラグを抜き、販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご連絡ください
においがする	使用開始時に、においが発生することがあります	故障ではありません(使用を重ねると、においはなくなります)
突然電源が切れた	切タイマーが設定されていた	再度電源を入れてください
	長時間使用して安全装置(12時間タイマー)がはたらいている	再度電源を入れてください
電源ボタンで切にしているのに運転を停止している	温度が高くなってサーモスタットがはたらいている(3ページ参照)	活性炭フィルターが汚れて吸気ができずに温度が上がってしまうことがあります。活性炭フィルターのお手入れをしてください(9ページ)
電源ボタンで入にしているのに運転を開始した	人感センサーモードが設定されていて、動作を開始した	人感センサーボタンを押して連続運転モードに切り替えるか、電源ボタンを押して電源を切ってください
ボタンが反応しない	チャイルドロックを設定している	チャイルドロックを解除してください(8ページ)
電源ボタンを押して運転停止しても、ファンが回っている	ヒーターを冷やすために約30秒間、ファンが回ったままになります	ファンが回っているのが約30秒なら問題ありません
本体を動かすとカラカラと音がする	転倒オフスイッチの音です	異常ではありません

長年ご使用の場合はよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

製品についての
ご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

☎ 0120-104-481

【受付時間】 9:00～17:00 (祝日以外の月～金曜日)

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<http://www.doshisha.co.jp/support/faq/appliance.html>



ドウシシャのパーツ購入は

ドウシシャマルシェ

DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで

<https://www.doshisha-marche.jp/>

